



めざせ一位 志津小学校の けん玉一本勝負に密着



けん玉 一本勝負とは?!

月に一度、全校児童が参加するけん玉の大会。クラス対抗で行われ、学年ごとに1位を決定する。朝学習で大皿、小皿、中皿、とめけん、ふりけんの5種目に挑戦し、クラスの成功率で競い合う。年に一度、名人戦、達人戦も開催されている。



「中皿、構え、はじめっ!」
の先生の号令でクラス全員が技に挑戦
シーンと空気がはりつめた教室内

草津市にある志津小学校では、
月に一度、「けん玉一本勝負」が
行われています。
一本勝負が始まった
きっかけ、この活動の
良いところを
取材しました。



とめけん、
ふりけんは
難しい

はい!
成功した児童は
手を挙げて待機。
先生が人数を
カウント



技に集中する児童の顔は真剣そのもの
だ。学年が上がるごとに、表情の真剣度は
増していく。

そして、みんな、うまい…。

校長先生に
聞いてみました!



山田容子校長に突撃インタビュー!

Q. なぜ、けん玉一本勝負を
しようと思ったのですか?

今から12年前、当時の宮地校長先生が
「卒業した後にも自慢となる名物を作りたい」と
始められました。今では「けん玉の
学校」と呼ばれるほど、地域の方にも知ら
れる存在となりましたね。

Q. 一本勝負をしている
子どもたちを見て、
どう思いますか?

真剣にやっている姿がとても美しいな
あと、1000人を超える児
童が同時に同じ体験をするので一体感
があります。

Q. この取り組みをやって
よかったと思いますか?

先生も練習してみましたが、とても難しいで
すね。相当練習しないとできません。だから、
できるとみんなの自尊心、私もできた!と
いう気持ちが高められるのでよかったです。

Q. 6年生が1年生に教えたり、
クラスでも上手な子が教えてくれ
たりします。どう思いますか?

けん玉を通じて子ども同士のつながりがで
きて、とてもよいことだと思います。こうや
って志津小の伝統が伝わるのは、嬉しい
ことです。